

上田市教育委員会5月定例会会議録

1 日 時

令和5年5月23日（火） 午後3時00分から午後4時00分まで

2 場 所

上田市役所 南庁舎503会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
教育長職務代理者	安 達 永 眞
委 員	森 田 小 百 合
委 員	大 久 保 恵 子
委 員	木 口 博 文

○ 説明員

小野沢教育次長、宮原教育施設整備室長、長田学校教育課長、上原生涯学習・文化財課長、和根崎上田城跡整備担当政策幹、久保田人権同和教育政策幹、小須田学校保健給食課長、清水第一学校給食センター所長、武捨第二学校給食センター所長、坂口丸子学校給食センター所長、星野中央公民館長、木嶋西部公民館長、滝沢城南公民館長、馬場上野が丘公民館長、遠藤塩田公民館長、大森川西公民館長、佐藤上田図書館長、金田上田情報ライブラリー館長、坂部上田市立博物館長、小林丸子地域教育事務所長、松木真田地域教育事務所長、若林武石地域教育事務所長

1 あいさつ

5月に入って、気温の上昇や下降が激しい日がある。温暖化により、厳しい気候条件になっている。動植物も非常に活発に動くようになっている。植物も成長するわけである。

この時期、生命の輝きを感じられる良い日になっている。私の祖母だが、農家で生まれ、農家で育った。自然の動きを見ながら農作業するわけである。先ほど大久保委員と話をしたが、渡り鳥のカッコウが渡ってきて鳴いたら、大豆の豆を蒔く。そのようなことをしていた。それは昔の人の知恵であり、生物暦というのがあるわけだが、そういう目に見えないようなところでも我々自然と密接に関係があるのだと感ぜられる。

教育委員会でも各課の事業等も資料をいただいて、いろいろなことに配慮していただいてありがとうございます。今年度になり2か月が経つわけだが、無事順調に進んでいるなど感じている。それでは5月の定例会をよろしく申し上げます。

2 協議事項

(1) 「公民館運営審議会委員」の委嘱について(上田市中央公民館)

○資料1により星野中央公民館長説明

中央公民館館長の星野と申します。よろしく申し上げます。

資料については、お手元の資料1を御覧いただきたい。「公民館運営審議会委員」の委嘱についてである。

概要であるが、市内の9公民館には、各公民館に公民館運営審議会を設置しており、公民館における企画事業等について御審議・御助言をいただいている。各審議会の委員のうち、1人については、学校支援事業等、学校との協力関係を保つために、上田市校長会の方から小中学校の学校長を推薦していただいているが、この度、4月の人事異動に伴って上田市校長会の役員改正もあり、新たに推薦された学校長を公民館運営審議会の委員として委嘱したいというものである。

今回、人事異動で変更になった委員については、「1 変更となる公民館運営審議会の委員」に記載のとおりである。中央公民館、塩田公民館、武石公民館の記載の方の学校長を変更したいというものである。任期については、変更前の委員の残任期間として、来年の令和6年10月30日までとしたいというものである。御審議の程よろしく申し上げます。

峯村教育長

ただ今の説明について、御意見、御質問があれば願います。よろしいか。

○全員了承

峯村教育長

それでは、新しくこの3名を委員にお迎えするということで御承認いただけるか。

○全員了承

峯村教育長

ありがとうございました。それでは続いて、

3 報告事項

(1) 文化財 de 文化祭の開催について(生涯学習・文化財課)

○資料 2 により上原生涯学習・文化財課長説明

生涯学習・文化財課の上原と申します。資料 2 をお願いしたい。

それでは文化財 de 文化祭の開催について御説明申し上げます。市内には、市の指定を受けた文化財が数多くある。この貴重な宝をより多くの市内外の皆様に知っていただき、後世に継承していくための取組や継承していくために取り組んできているところであるが、その一環として文化財の活用モデルとして提案していくことを目的に、音楽やパフォーマンス等のイベントを文化財 de 文化祭として行っている。例年、文化財 de 文化祭実行委員会主催により、年 2 回開催してきており、今年度第 1 回として、開催する内容について御報告をさせていただくものである。

今回は、真田町長にある、市指定文化財である、史跡真田氏本城跡を舞台とし、文化財 de 文化祭 in 真田氏本城跡～親子で遊んで学ぼう!! 忍者山城を走る!!～として、開催する。期日は、5 月 27 日(土)、内容として、文化財の紹介をしていくほか、この真田氏本城については、山城であるのでこの山城の地形や遺構を活かし、親子で忍者になり体を使った遊びやチャンバラ合戦などの体験型のプログラムを予定している。2 枚目にチラシをつけている。活動のイメージを写真で御覧いただければと思う。

今回、この文化財 de 文化祭として小学生、子どもとその保護者向けの試みは初めてであり、今回、記載の方法により広報で募集したほか、「その他」に記載のとおり上田市子ども会育成連絡協議会后援いただき、チラシが子どもの家庭に届くような取組をしたところである。おかげさまで、定員を上回る皆様に御応募いただき、小学生 27 名、保護者を合わせると 50 名の皆様に御参加をいただく予定である。また、山城を舞台に実施することも初めてであり、特に資料に記載はないが、山城という文化財を知っていただく機会として、また、山城の活用に向けた取組として、参考事例となればと考えており、令和 2 年の全国山城サミット上田坂城大会開催後に設立された、上田広域山城連絡協議会の皆様にも様子を見ていただきたいということで、お声がけをさせていただいているところである。説明は以上である。

峯村教育長

ただ今の報告について、御質問、御意見あればお出しいただきたい。

大久保委員

今まで、文化財 de 文化祭は、歌のコンサートであったり、パフォーマンスだったりするので、今回、こういった参加型の内容を企画していただいたのがとても良いと思った。今、親子で体を動かして遊ぶ、それも大人数で集まるという機会が本当に少なくなっていると思うので、本当にこのタイミングで、コロナもだいぶ緩んできたところで、こういった企画を立てていただいたのはとても良かったと思う。真田氏本城は、私はよく遠足などで行っていたのだが、行けばこのような感じで遊び、すごく楽しい場所だったという記憶があるので、とても良いイベントになると思う。お天気が良いといいと思う。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

木口委員

この表記のところでお聞きしたい。「傷害保険料は自己負担」というように 1 枚目のところに書いてあるが、これは当日、傷害保険料分は払ってもらうということなのか。

上原生涯学習・文化財課長

受付の時点で、一応、保険料 30 円になるのだが、御負担いただくことをお願いする予定である。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

木口委員

それであれば、やはりチラシの方に、「参加料なし」と、完全を書いてあるので、本当に親子なので全く財布を持たないということはないと思うが、この表記は少しこの辺工夫した方が良いかと思った。

上原生涯学習・文化財課長

大変申し訳ございません。実際問題、保険料を取るといって、受益者負担については公民館を含めてやらせてきていただいている。その点、少しこの企画の段階でその確認が取れておらず、この企画が始まった中で、周知をさせていただく時点では、確認をしておらず、その後にはちょっと変更させていただいており、受付の際に、メールをさせていただいているので、受付させていただければと思っている。

峯村教育長

ほかにはいかがか。よろしいか。

○全員了承

(2) 新型コロナウイルスの感染拡大により通常開催できなかった「令和3年成人式」における対応について（生涯学習・文化財課）

○資料3により上原生涯学習・文化財課長説明

では引き続き、私の方から、新型コロナウイルスの感染拡大による通常開催できなかった令和3年成人式における対応について御説明を差し上げたいと思う。次の資料3を御覧いただきたい。まず、「趣旨・経過」を簡単に御説明する。令和3年成人式については、新型コロナウイルス感染の拡大を受けて、5月に実行委員会を中心とした、代表者による成人式を開催し、その様子をYouTubeで動画配信するとともに新成人の皆様全員に、記念品を送付させていただくことで、上田市の成人式とさせていただいたところである。その後、市議会の一般質問において令和3年の成人式に関する質問をいただく中でその質問に対し、新型コロナ感染症が収束した際に、対象となる成人者から、上田市で集まりたいという希望がある場合に、公民館等の公共施設の使用について可能な限り相談のり、対応してまいりたいと答弁してきているところである。これを受け、現在、新型コロナウイルスの、感染が収束した状況にはないが、感染症対策などの受ける規制の緩和や感染症法における類型変更がなされたことを踏まえ、この時期を捉えて、答弁内容に沿った支援に取り組みたいということである。

その支援の考え方である。まず、対象として、「令和3年の成人式」の対象者であること。最小限の開催単位を原則として「中学校」としたいというものである。その際に、開催単位の対象者に対し、周知していただくことをお願いしてまいりたいと考えている。また、この支援期間としては、原則として令和6年度まで、令和7年3月31日までの2年間としたいというものである。

次に支援の内容である。答弁にもあったとおり、公共施設の会場使用に関する相談、そして、その使用料の減免、加えて、提案された内容に関する相談、また協力・支援をしてまいりたいというものである。

以上の支援の考え方に基づいた現在の状況である。この支援の趣旨、内容について、当時の各会場の実行委員の皆さまに、4月末までには連絡を取らせていただき、お伝えをしてきているところである。これまでの自主的な集まりの事例として、記載の参加地域において2年越しの令和3年成人式が開催されている。主な内容は、記載のとおりであるので、御参照いただき

たいと思う。説明は以上であるが、今後このような自主的な集まりについて相談があった際には、先行事例を参考にしながら対応してまいりたいと考えているので、よろしくお願ひします。説明は以上である。

峯村教育長

ただ今の報告において御質問、御意見あればお出しいただきたい。

森田委員

私は、この令和3年の時の成人式に教育委員をさせていただいて、本当にもうかわいそうで仕方がなかったことを思い出しますが、やはりぜひ、広く周知していただき、できるだけそういう機会を市の方でサポートしてもらえればと思う。もう数年経ってしまったけれども、とにかく同級生が集まるということが一番。でもまだまだコロナウイルスが、完全に収束しているわけではないので十分な配慮が必要かと思うがそれを踏まえて、市の方でサポートしていただくのがいいかなと思う。公平に周知していただき、この年度の人たちにきちんと広報が伝わるようにしていただきたいと思う。

峯村教育長

ありがとうございます。令和3年度は、コロナウイルスの実態というものがどういうものかというのが、まだ分かっていなくて、感染拡大の可能性が非常に高いという状況下で、上田市として、精一杯のことをしていかなければいけないという中で、どこまでできるか、心配しながら、また慎重に検討しながら、実施したわけであります。

この年度の成人の皆さんは、御理解をいただいていると思うし、各実行委員会の代表の皆さんだけの成人式だったわけで、それもテレビ放映されて、一定程度の納得はしていただいたと思っている。ただ、今になってみると、振り返ってみて、あの当時のコロナウイルスの危険度と、今温度差があるので、そういうことを考えて遡って「成人式をやるようであれば、上田市教育委員会は、精一杯応援をしますよ」という、そのような立場である。

木口委員

ふたつ、質問したい。本当にこの年度の人たちは、なんでもダメダメと言われたが、やっとうこういう企画していただくのが本当にありがたいと思うのだが、ひとつ、対象であるが、先ほどの説明で、開催単位の対象者に対し、ここには「周知すること」と書いてあるが、説明では「周知していただく」というようなことであった気がした。そこがどうなのかというのがひとつ。

それともうひとつ、今回真田地域は5月6日でやられたということだが、これは、こちらから周知する前にもう自主的にそのような話が持ち上がって行われたことなのか。

上原生涯学習・文化財課長

一点目については、ここではお願いしていかなければいけないというか、要は関係者に対してなるべく行き届く状態で、要は任意の集まりだけでは終わらないような形でお願いしたいということで、また支援させていただくにあたっては、こちら、生涯学習課なり、公民館のほうからお願いをしていく、その辺のお手伝いをさせていただくということになってくるかと思う。

木口委員

周知するのは、このやりたいという人たちが、全員に周知してくださいと。

上原生涯学習・文化財課長

そうである。基本的には、自主運営であるので、まず住所、というところでいくと、その当時の成人者の情報は持っているのだからこちらからその辺を提供させていただくというか、個人情報になるので、出す段階においては、こちらの方でお手伝いをさせていただき、個人情報は、その方たちには知らないような環境でやっていくべき話かなと思う。

お伝えする手段として1回目、こちらもお手伝いさせていただいて、今回真田の場合も一度出させていただくところにQRコードを付けて、そこから申し込みが可能だとか、連絡先が

付くような体制をとっているのです、そのこともアドバイスさせていただきながらやっていければと思っています。

二つ目のことについては、真田の元実行委員の方からそういう相談が真田中央公民館の方にあり、流れとすれば同時進行、ということではあるのだが、市とすれば、このコロナの収束ということで答弁させていただいている中で、どの時点でその判断をしていったらいいかということで、類型の変更、国の方で指定されているということもあり、同時の流れでやらせていただいている形になる。

峯村教育長

松木所長、開催の様子、何か参加者の感想等、聞いていただいたら御紹介をいただきたいと思う。

松木真田地域教育事務所長

5月6日に真田公民館に於いて、2年越しの令和3年成人式が行われ、先ほど上原課長からもあったが、今年、1月の「二十歳を祝う式」の時に、真田の会場は、保護者も会場の中に例年は入っていた。それがコロナで入れなかったのだが、玄関で保護者の方、或いは丁度令和3年の時の弟、妹が今回成人になられた方が結構あり、玄関で保護者の方、あるいはその当事者の方が集まった中で、この子たちの代は残念ながらできなかったんだよ、というような話が保護者同士の中で話されるという、そのような中で当時の実行委員を務めておった、今回実行委員長を務めたが野村君が、私ども教育事務所の方に相談をし、「なんとかならないでしょうか」と、「僕たちの成人式できないでしょうか」と相談をいただいた中で、君たちが主体性を持って、やっていくのであれば協力しますよ ということでもらっていただいた。通知の発送から、そういったものまで、全て実行委員の人たちがやり、私どもの方は、一番最初の郵送だけお手伝いさせていただいた。当時の方々、90名の方に通知を出したのだが、実際の出席は32名であったけれども、本当にやってもらって良かった、ということをおっしゃっていらっしゃった。本当はもう少し大勢の方に出ただけであればよかったが、どうしても仕事に就いている関係で、遠くへ仕事に行かれています方などいらっしゃり、都合がつかないということで、32名の出席であったけれども、集まったときに、振袖を着て、参加された方もいらっしゃったし、皆さん本当に久しぶりに会って、本当にやってもらって良かったという声ばかりであった。当時の保護者の方もお越しいただいて、みんなと交流もできたし、私どもの土屋市長も出席していただき、そこで祝辞もいただいたので、本当にもう「成人式」ということで立派にできたかなと思っている。

峯村教育長

ありがとうございました。それではよろしいか。

○全員了承

(3) 令和5年度 市立博物館・信濃国分寺資料館 事業計画（上田市立博物館）

○資料4に坂部上田市立博物館長説明

それではお手元の資料の4番を御覧いただきたいと思う。令和5年度市立博物館・信濃国分寺資料館事業計画について、御説明を申し上げる。目的としては、開かれた博物館を目指し、郷土の歴史、文化、人物等をテーマとした展示や講演会等を開催し、上田の歴史と魅力を広く発信していく。こういう目的を持って進めてまいりたいと思う。まず、市立博物館においては、1番の企画展である。夏と、冬の2回企画を行っている。

夏の企画展については、7月15日(土)から9月3日(日)までを予定し、刀剣と甲冑―サムライ・アイテム～上田藩の威光―(仮称)と題し、企画展を開催する。この企画展については、博物館に展示をしている史料がたくさんあるが、やはり甲冑だとか、武具といった、武士が使っていた道具、こういったものは非常に見ていただく方にも関心が高くて、甲冑ファンには大変興味深い史料である。夏場の夏休みに上田城跡公園を訪れる観光客の皆さんも大変多いことから、そういったものを中心に展示をし、御覧をいただきたいということである。そしてまた、今回は市立美術館との共通のテーマということで、「刀剣と甲冑」甲冑、武具については、博

博物館に展示し、刀剣については、美術館に展示をすることで、ひとつのテーマをふたつの館で同時に開催するという新しい試みをしてみたいと考えている。これについては、市立博物館と市立美術館、近いようで遠いような距離、ここでなかなかお客さんが両方の博物館を一度に見られるという機会が今まで少なかったもので、こうした共通のテーマを取り上げて、こっちの館も見たい、あっちの館も見たいというそういう思いも持っていただきながら、新しい動線の開拓、あるいはルートの開拓、こういったものを探したいということで計画をしている。それから、冬の企画展である。こちら 12 月の 10 日から年が明けて 3 月の 12 日までという期間で開催をしていただく。タイトルが、上田の温泉郷一鹿が教えた湯は特別な所?—(仮称)という、温泉をテーマにしたいと思う。やはり冬場というのは、温かい温泉というのが恋しい季節であるので、そういった点から温泉を取り上げ、その温泉それぞれの歴史の背景、そういったものをお伝えしながら、また、市内の温泉の PR にも一役買いたい、そういう考えから計画をしている。

それから、2 番目の講座である。これは、博物館講座と、古文書講座のふたつを開催させていただく。どちらも全 5 回のシリーズということである。特に博物館講座においては、これまで上田の歴史という部分での講座がメインだったわけだが、やはり上田の民族、あるいは自然、こういったものも情報としてお伝えをしていかなければいけないかなというところもあり、今年度は民族自然も加えた盛りだくさんな内容で、講座の方を開催させていただく。それから古文書講座については、上級編ということで、これまで初級の方も上級の方もひとつのクラスでやっていたのだが、やはりなかなか実力に差がついてしまい、初級の方がついていかれないということがあり、今年度は上級者の方を対象とした講座を組ませていただいた。また来年度以降、初級者、中級者等の講座ということで考えている。以上が市立博物館である。裏面を御覧いただき、信濃国分寺資料館である。信濃国分寺資料館においては、国分寺史跡に関する史料を中心に、市内の遺跡から出た考古史料、こういったものを発信する施設である。

については、企画展として、秋の企画展、新春の特別展と 2 回計画をしている。秋の企画展については、8 月の 21 日から 10 月の 31 日まで地元の遺跡を知る—最近の発掘調査から(仮称)ということで、市内の最近の発掘調査の状況、こういったものを皆様にお伝えしたいと考えている。

それから、1 月に行われる信濃国分寺の八日堂縁日に合わせ、新春の特別展という形で、蘇民将来符展を開催させていただく。これも年に一度しか展示しないのだが、「牛頭天王之祭文」(ごずてんのうのさいもん)あるいは「八日堂縁日図」(ようかどうえんにちず)という、非常に貴重な史料を展示する。それから講座である。夏休みに親子で考古学の体験をするという、「親子 de 考古学体験塾」というものを、計画している。こちらは、例えば、縄文の土器を作るとか、矢じりを作るとか、工作的な内容にはなるが、親子で楽しんでいただければと考えている。それから、奈良時代を学ぶ会ということで、これは秋、9 月から 11 月にかけて、全 3 回で万葉の時代のことを学ぶということで、講座開催させていただくものである。それからあと、市民及び他団体との連携ということで、国分寺資料館の庭にある万葉植物園の育成ボランティアという会の皆様との交流を図りながら育成管理の方を進めてまいりたいと考えている。大変雑ぱくではあるが、以上が市立博物館と信濃国分寺資料館の事業計画である。よろしくお願いたします。

峯村教育長

御質問、御意見があればお出しいただきたい。

大久保委員

企画展の方だが、刀剣と甲冑、今は刀剣ブームであるし、美術館と連携という新しいやり方で、とても良いと思う。次の冬季企画展、これも本当に冬ならではの、温泉であたたまるうと言う良い企画だと思うのだが、もっと温泉地との連携みたいなものができる、観光 PR とさつき仰っていたけれども、そういったちょっと何かあるともっと企画として楽しくなるかなと思った。2 番目の講座であるが、博物館講座、「上田の歴史・民俗・自然」とあるが、各回のテーマがもし決まっていればより興味をより持ちやすいのではないかと思う。すごくたくさん企画、夏休みのことだと企画イベントたくさんたてていただき、本当にただ観に行くだけでは

ない博物館であったり、資料館であったり、というところでこの一年、上手にというか、沢山の方が来ていただけるように、進めていただきたいと思う。よろしくをお願いします。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

森田委員

こういう講座について、講座の内容は、録画でそれを残し、配信等されるか。

坂部上田市立博物館長

録画は特にしない。

森田委員

それは、なにかやはり会場に来てという、限定でなければいけないということか。

坂部上田市立博物館長

今のところは来て御覧いただく。やはり定員も 20 名の定員でという形になるので、限られた皆さんしかお聞きいただくことができないけれども、例えば UCV さんだとか、丸子テレビさんだとか、そういったところとも話をさせていただきながら、広く大勢の方に聞いていただけるような機会もできればいいかなと考えているので、また検討させていただきたいと思う。

森田委員

プライベートなことだが、亡くなった母が、上田社会教育大学に長くおり、その方々が結構年齢も高齢化し、やはり若い人達がなかなか参画してこないという体制になっているということが以前から続いているのだが、やはりこういう上田の歴史だとか、民族のこと、非常に貴重で面白い内容のことなので、せつかく小中学生も動画を授業で見ることができるようになり、高校生、大学生など、関心をもつ若い子たちもたくさんいると思う。なので、ぜひ、そのような若い世代にも届くように工夫も検討していただきたい。

坂部上田市立博物館長

ありがとうございました。

(4)「丸子地域国際交流イヤー2023」について(丸子地域教育事務所)

○資料5により小林丸子地域教育事務所長説明

丸子地域国際交流イヤー2023について御説明を申し上げます。丸子地域教育事務所では、今年令和5年を、国際交流イヤーとし「友好都市ブルームフィールド市郡との青少年派遣交流事業」の受け入れと、友好都市締結のきっかけとなった「ワールドキャンパス・インターナショナル(WCI)」の受入事業を実施するものである。いずれも、ホストファミリー及び実行委員を市民等から公募し、市民協働型で運営している。また、多様性、多文化共生のまちづくりをしてもてなすということを主眼において運営している。それでは1になるけれども友好都市ブルームフィールド市郡との青少年派遣交流事業である。旧丸子町の時に締結され、中学生12名を派遣して以来、約20年に渡り青少年の交流をしているものである。ここ3年、コロナ禍で交流事業を延期していたが、その間、zoomで交流を深めてきた。コロナ開けということで、今年は受け入れの年となり、運営主体はブルームフィールド市郡と上田市の友好を支援する民間の国際交流団体「国際交流事業を進める会」(OPIE)が担うという形で実施してまいるのである。

日程については、7月の30日から8月の6日までである。受け入れ人数は15名、高校生11名等を含んで予定している。また、(5)になるが、ホストファミリーは、今現在13家族ということで、あともう少し欲しいかなという感じになる。(6)のスケジュールについてである。7月30日の午後はこちらに到着し、マッチングから始まり、翌日31日に上田染谷ヶ丘高校との交流ということで予定している。国際教養科との交流でほぼ一日予定している。8月3日は、アウトドア・アクティビティを予定しており、夏休みひびきあい教室、これは丸子地域の教室に

なるが、それと青少年ネットワーク、これも丸子地域の高、中、小の連携をはかったネットワークというものがあり、そちらでアクティビティのどういうものをやるかということを組み立てるものである。実際、明後日 25 日に、会議を予定している。あと、翌 8 月 4 日、日本文化の体験、ということで、琴とか、そのようなことができたかと考えている。また、8 月 5 日はホストファミリーデーということになる。上田の花火大会であったり、地元“まるこどどんこ”というようなことで、それぞれのところでお楽しみいただければと思っている。そして 8 月 6 日は帰国、このようになっている。

では、裏面を御覧いただきたい。ワールドキャンパス・インターナショナル受入事業である。先ほど申しあげたように、ブルームフィールド市郡との締結のきっかけとなった団体から派生したワールドキャンパス・インターナショナルである。このワールドキャンパス・インターナショナルであるが、今回は、世界 10 か国以上の若者、平均 21 歳の非常に若い若者という方だが、国内 9 都市をめぐり、上田市のために努めている。滞在期間中に、地域の住民の皆様との交流を深め、地域の住民の皆様と一緒に多様性、共生というものを一緒に考えていけるような仕組みを取り入れたいというものである。日程については、7 月 12 日から 18 日である。受け入れ人数は、御覧のとおり 36 名、主に欧米の方というようなことになる。

過去の受け入れの実績だが、御覧のとおり旧丸子町主催、上田市ということになっている。この受入団体は、国際交流フェスティバル実行委員会、今、私ども事務局の丸子地域教育事務所が事務局ということで、盛んにこの実行委員会を開いて、組み立てをやっている。上田市としてどういうことをやろうか、ホストファミリーに関する部会、それと、国際交流フェスティバルであるが、何をやるか、今議論しているところである。この方たちのスケジュールについては 12 日にこちらに来られホストファミリーマッチング、7 月 13 日にスクールデーということで、午前中は第三中学校で交流、あと、午後になるが、午後は丸子地域の小中学校で交流するという予定になっている。そして 15 日アクティビティについては、長和町でちょっと体を動かして、午後は、上田市内で別所温泉、別所温泉の周りやサントミュージアムを御覧いただくということである。16 日はホストファミリーデー、そして、17 日は国際交流フェスティバル、このようにまだ、皆様にお話できる段階にはなっていないが、今後ということで、地域の皆さんをこの件につきまして、今、丸子修学館さんで何かできないかなということ、いろいろお話を進めているところである。翌、18 日が出発 という、このような予定で、二つの団体を受け入れるということである。以上である。

峯村教育長

御質問、御意見があればお出しいただく。

安達委員

1 ページ目、表の面の、OPIE というのは、どのような団体か。それがひとつと、それから、一番鍵を握ると思うが、ホストファミリーはどのようにやって、手を挙げていただくのか、ということをお話していただきたい。

小林丸子地域教育事務所長

2 点、御質問をいただいた。OPIE は、「国際交流事業を進める会」である。こちらの団体であるが、丸子町時代からこの団体があり、ビルレッティさんという方がいらっしゃる、その方がカナダ人の方であり、その方が窓口になってこの国際交流を進めているという団体である。その事務局はここに書いてあるが、丸子地域教育事務所でやっており、年に何回か 5 回ぐらい会合を開いて色々と国際交流のあり方などを議論するものである。

それとあともう一点、ホストファミリーについてである。丸子地域教育事務所では 4 月に丸子文化会館で、このホストファミリーの説明会、募集というものをやり、その報告については、市のホームページとか、あと回覧等、丸子地域を主にした回覧等をして、概ね人数 60 人くらいの方、親御さんとお子さんもいらっしゃるが、そういう説明の機会が 1 回あり、4 月末までに手を挙げてくださいというようなことで、募集をしている。あとは、追加の関係とか、最終調整をしている。そんな状況である。以上である。

安達委員

「自分の家では、向こうへ子どもを送るほどの金銭的な余裕がないのだけれども、受け入れることぐらいはできるので、その中で国際貢献できればいいな」という声を実際にお聞きした。だから、そんなところもすごくだんだん華美になっていってしまうといけないので、“送ることはできないが、受けて国際貢献できるよ”という方はいらっしゃると思うので、大事にしてもらえばと思う。

小林丸子地域教育事務所長

御意見をいただき、ありがとうございます。

峯村教育長

ほかにはよろしいか。

○全員了承

(5)「上田市の図書館 100 周年記念事業の実施について(上田図書館)

○資料 6 により佐藤上田図書館長説明

上田市の図書館 100 周年記念事業の実施についてであるが、まず、1923 年、大正 12 年に、上田市で初めて公立図書館が誕生した。その上田市は 4 年前の大正 8 年に上田町から上田市となっているが、この図書館が今年で 100 年。当時の建物は、「明治記念館」、現在の市立第二中学校向かい側の石井鶴三美術館があった所の建物である。昭和 45 年まで市立図書館として使用していた。

開館当時の蔵書数は 462 冊で、上田市公報には、寄付を希望する記載があった。100 年後の現在、上田、丸子、真田、各図書館、情報ライブラリー、そして、創造館、武石公民館に図書室があり、蔵書数は、約 64 万冊に上っている。この公共図書館の歩みを、多くの方々に、市民の方々に知っていただくといったことを目的に実施する。

タイトルを「上田市の図書館」とした理由は、この地に、今の上田市の地域に公共図書館ができて 100 年 という位置づけで、市内全体で 100 周年を記念したい、というものである。記念事業内容は、各講演会、6 月 4 日と、9 月 10 日、の 2 回開催をする。テーマや講師は記載のとおりである。また、(2)で巡回展示を、来月から上田図書館を皮切りに、市内 4 館で概ね 1 カ月ぐらいの期間で展示をする。

展示内容については、歴史年表であるとか、上田図書館報とか、古い写真などを予定している。最後に、記念しおりの配布であるが、お手元にある表と裏に歴史や各館に則したしおりの配布を予定している。よろしくお願いします。

峯村教育長

ただ今の報告について、御質問、御意見があればお出しいただく。

大久保委員

この記念しおりの配布は、だいたいいつからか。

佐藤上田図書館長

6 月の終わりごろからを予定している。

大久保委員

ありがとうございます。

峯村教育長

ほかにはよろしいか。

○全員了承

峯村教育長

それでは、(6)から(8)までは説明がないが、御意見、御質問あればお出しいただく。

木口委員

行事共催等の申請状況のことだが、昨年も一応お話したかと思うが、1枚目学校教育課のところで、以前申請の内容とか、その目的のようなこともぜひ入れていただきたいという話をしたかと思うのだが、今回でも、私が知らないだけなのかもしれないが、初めてのところであったりとか、申請されている方で個人的なセミナーみたいなものとかって、内容とか目的みたいなものだったり、例えば有料なのか、有料でないのかとか、そのようなあたりここに記載がないので、判断されているのだと思うのだが、後援をすると、主催者側は、市のお墨付きをもらったというような形で考えるので、その辺の内容がやはり分かるようにしていただきたいと思う。その辺はいかがか。

峯村教育長

時間の関係で、これは検討させてもらうということによろしいか。

長田学校教育課長

以前に木口委員さんからそのような御指摘いただき、今回、生涯学習・文化財課と、当課との二つしかないなので、この辺が、各課によって、申請趣旨の記載が、課によって全然バラバラだという御指摘をいただいている。私、そのときの解釈で、この改正趣旨を目的ということで、このような記載にしているのだが、今、木口委員さんのお話を伺うと、生涯学習・文化財課で記載されているような内容とか、目的をしっかりと明記した方が分かりやすいという御提案であろうかと考えるので、これは、また事務局の中で統一した記載になるように調整させていただきたいと思う。以上である。

峯村教育長

ほかにはいかがか。よろしいか。

○全員了承

4 その他

峯村教育長

事務局の方から連絡事項等あるか。よろしいか。

○連絡事項なし

峯村教育長

ありがとうございました。

それでは以上をもって5月の定例会を終了する。

○全員了承

閉 会